2027年6月期
第1四半期
決算説明会資料

キュービーネットホールディングス
株式会社



2026年11月16日

目次

第1四半期業績サマリー ―― P3

第1四半期業績概要 ―― P4～

国内事業 ―― P6～

海外事業 ―― P11～

Appendix ―― P18～



© QB Net Co., Ltd. All Rights Reserved.

第1四半期業績サマリー

第1四半期振り返り

国内事業	売上収益	■ 店舗数増加、既存店の成長により、売上収益は前年同期比104.3% ■ 「ツキイチ割引キャンペーン」の有効期限短縮により月末へ集中していた来店需要は緩和傾向
	原価・販管費	■ 人財数・店舗数の増加に伴い、人件費・家賃・減価償却費等が前年同期比で221百万円増加 ■ 店舗管理者の増員、求人費増加に加え外形標準課税の負担増加により販管費は53百万円増加
	人財状況	■ 採用人数は、育成人財 23人、経験者 29人 ■ 店舗配属人財数は、計画および前期実績を上回る41人となり、経験者採用による配属29人と合わせて70人
	出退店状況	■ 新規出店は新規の取引先への出店に加え出店地域を分散し、5店舗（計画比▲2店舗）を出店 ■ 閉店は2店舗の閉店計画に対し、1店舗の実績
海外事業	売上収益	■ 売上は前年同期比110.6% ■ 香港は個別対策強化、米国は人財基盤整備により既存店の来店客数の回復に注力 ■ 台湾は、台北エリアの土日・祝日のピーク対応体制を強化中、失客影響は想定の範囲で推移
	既存地域	■ 香港は、コロナ禍で一旦閉店となったQB PREMIUMを地下鉄駅立地に再オープン ■ 台湾は、採用競争力のある高雄エリアに1店舗を出店
	新規進出地域	■ ベトナムは、5号店を出店 ■ 新規進出地域は引き続き、出店開発と既存店の成長に注力

2027年6月期　第1四半期実績



© QB Net Co., Ltd. All Rights Reserved.

連結：2027年6月期　第1四半期　業績概要

- 売上収益は、新規出店増加や既存店の成長により、前期比105.5%の増収
- 営業利益は、国内の記録的な長雨の影響、海外既存国の回復遅れにより、前期比89.2%

（百万円）	2026年6月期	2027年6月期			
	1Q実績	1Q実績	前期比	通期予想	進捗率
売上収益	6,809	7,186	105.5%	28,950	24.8%
国内	5,499	5,736	104.3%	22,900	25.0%
海外	1,313	1,452	110.6%	6,050	24.0%
調整	△3	△3	―	0	―
営業利益	603	538	89.2%	1,700	31.6%
国内	531	495	93.2%	1,500	33.0%
海外	71	42	59.4%	200	21.0%
調整	△0	1	―	―	―
当期利益	379	316	83.4%	950	33.3%
基本的1株当たり当期利益	28円74銭	23円37銭	―	69円90銭	―
1株当たり配当額	―	―	―	40円00銭	―

国内事業実績

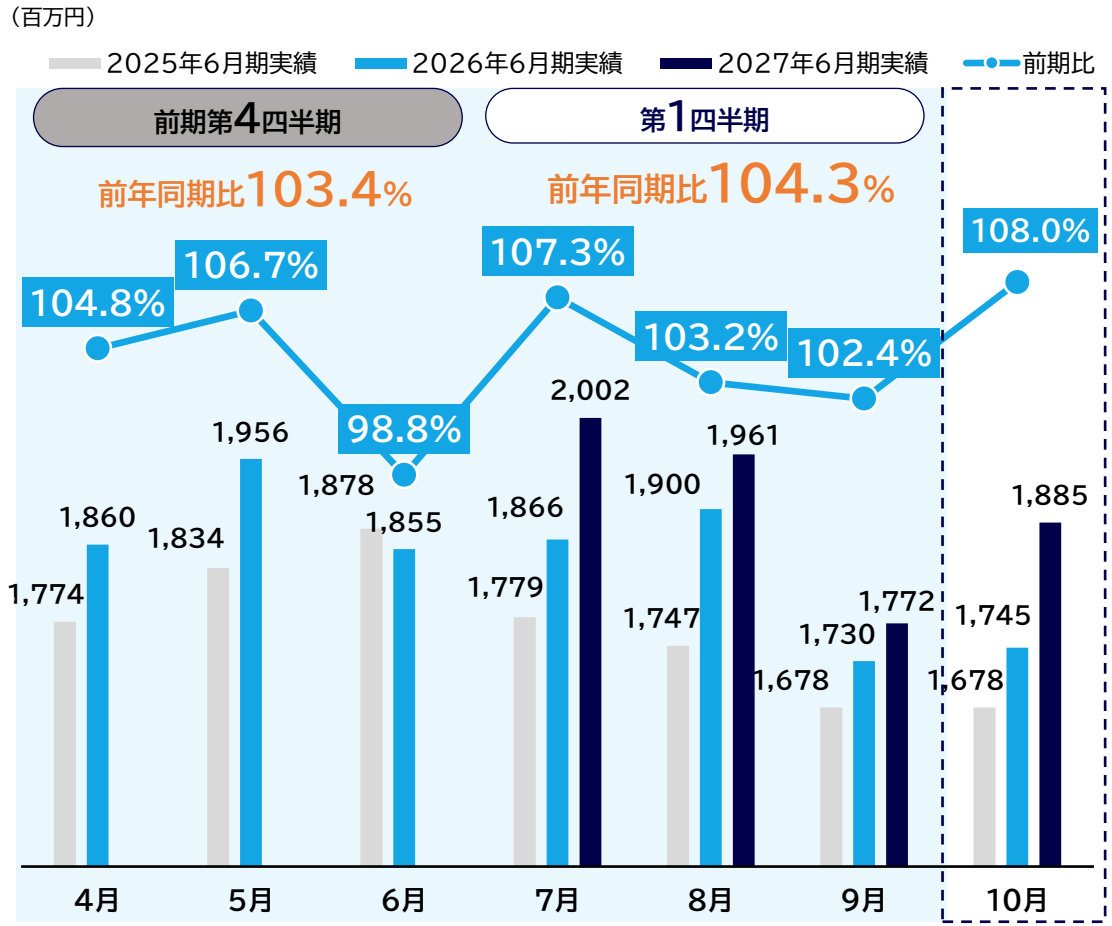


© QB Net Co., Ltd. All Rights Reserved.

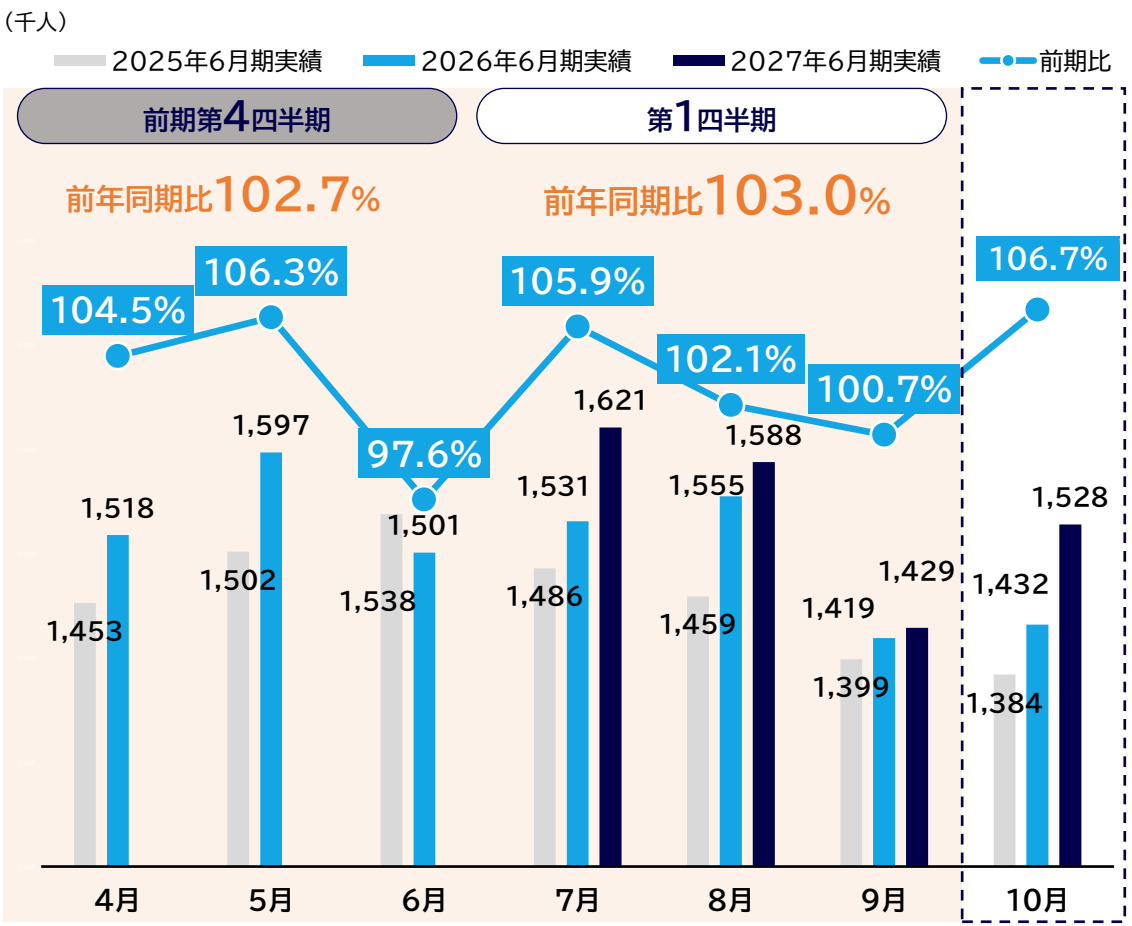
国内：売上収益・来店客数　実績推移

- 店舗数増加、既存店の成長により、売上収益は前年同期比104.3%、来店客数は前年同期比103.0%と増加
- 前期6月の台風による落ち込みや9月の記録的な長雨等により月間の変動はあるものの、四半期の需要は堅調に推移

売上収益　実績推移



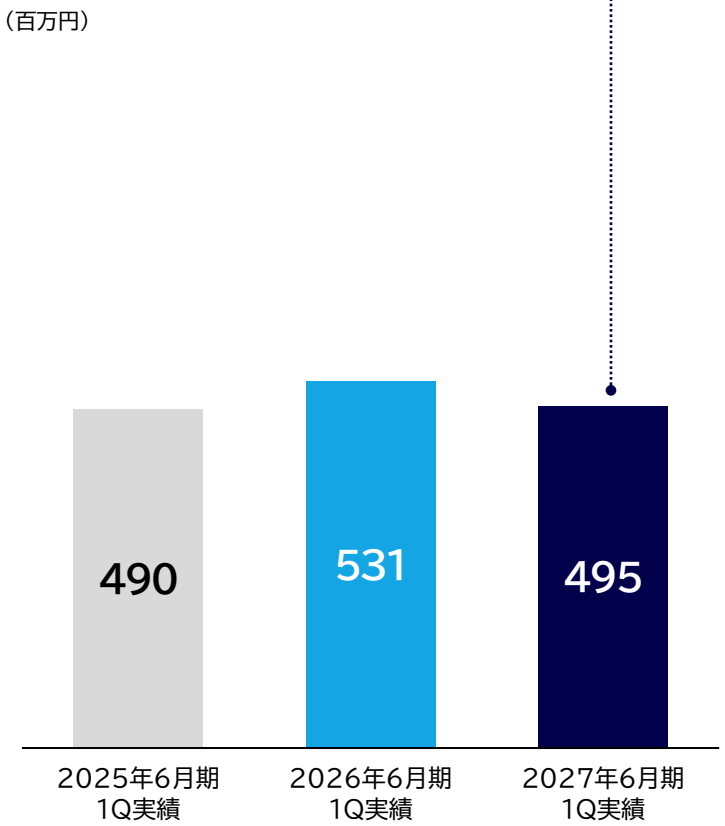
来店客数　実績推移



国内：営業利益の増減内訳（前期比）

- 第1四半期は、店舗数の増加や既存店の成長により、238百万円の増収
- 価格改定の単価上昇影響のあった前期の売上収益前年同期比105.7%に対し、当期は9月の記録的な長雨等の影響で104.3%となり、減益で着地

国内営業利益（第1四半期）



前期比の差異要因（▲36百万円）

営業利益　増加要因

1 （売上収益増加）
店舗数増、既存店の成長により前年同期比で104.3%
（+238百万円）

+238百万円

営業利益　減少要因

1 （店舗人件費増加）
人財数増・昨年10月評価に基づく昇給により、人件費増　（△143百万円）

2 （家賃等店舗経費増加）
店舗数増に伴う経費増加
（△78百万円）

3 （販売管理費増加）
（△53百万円）

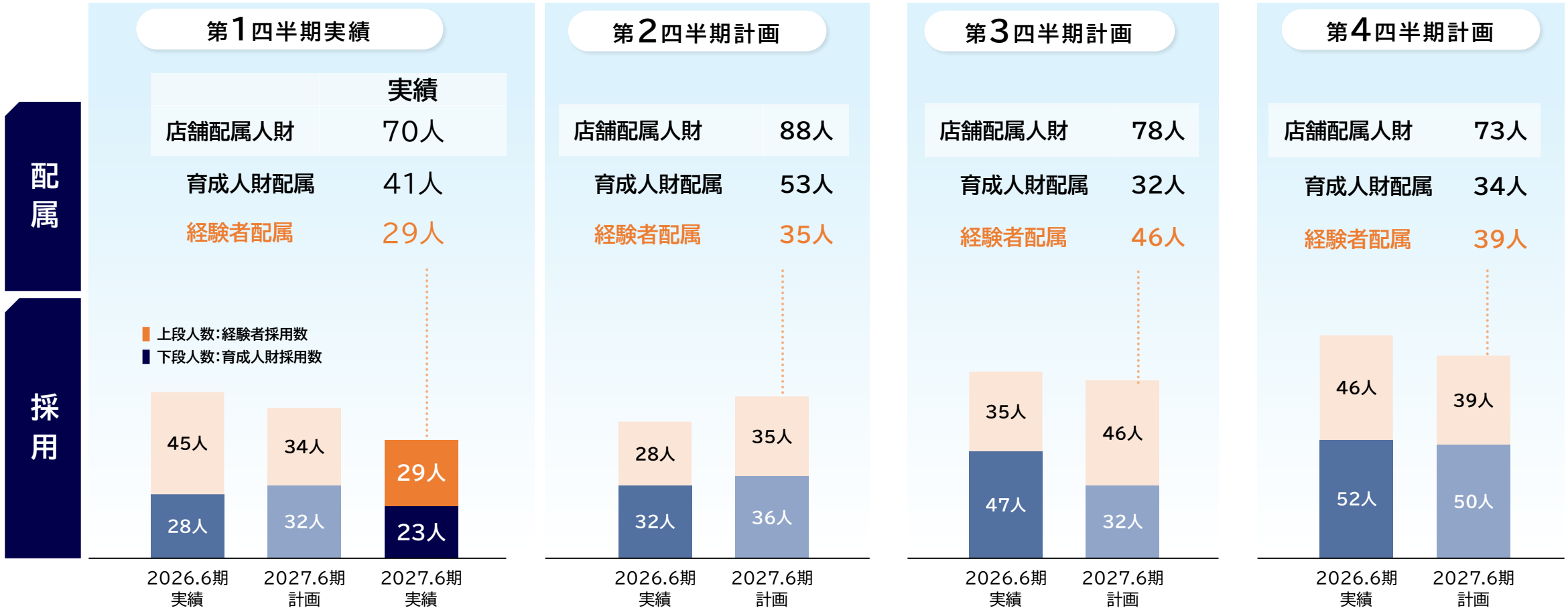
【販売管理費の主な増加要因】
店舗管理者の増員等　（△20百万円）
求人費増　（△13百万円）
外形標準課税増　（△14百万円）

△274百万円

国内：採用と配属の実績

- 採用人数は、育成人財採用 23人、経験者採用 29人
- 店舗配属人財数は、計画および前期実績を上回る41人となり、経験者採用による配属29人と合わせて70人

用語説明
【店舗配属人財】当該期間に店舗へ配属されたすべての人財
【育成人財配属】研修が終了し店舗へ仮配属された人財
【経験者配属】即戦力として短期間の研修を終了し店舗へ配属された人財



国内：新規出店　実績

- 第1四半期は、首都圏：2店舗、中部：1店舗、中・四国：1店舗、九州：1店舗と地域分散して5店舗を出店
- 7月オープンの「メガセンタートライアル新宮店」はトライアルグループへの初出店店舗

既存取引先への出店

商業施設	駅立地
中部地域 2026年7月オープン アピタ鳴海店	
中・四国地域 2026年7月オープン 天満屋ハピーズ西大寺モール店	
関東地域 2026年9月オープン イオンノア店	2026年9月オープン 京王中河原駅店





新規取引先への出店

新規取引先への出店
競合退店区画への出店

九州地域
2026年7月オープン
メガセンタートライアル新宮店



海外事業実績

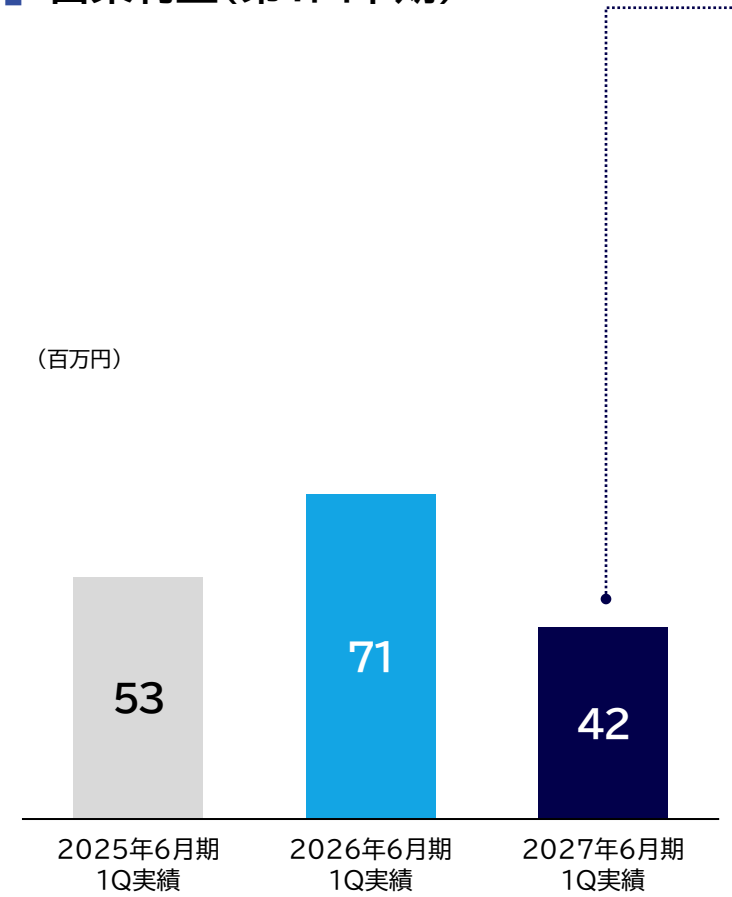


© QB Net Co., Ltd. All Rights Reserved.

海外：営業利益の増減内訳（前期比）

- 新規進出地域は店舗数の増加及び既存店の成長等により先行投資による損失額が縮小し、収益改善
- 香港・米国は回復に注力。台湾の失客影響は想定の範囲で推移、台北エリアは更なる成長基盤作りとなる人財確保を強化

営業利益（第1四半期）



前期比の差異要因（▲29百万円）

営業利益　増加要因

1 （新規進出地域の収益改善）

既存店の成長等による収益改善
（+4百万円）

（カナダ）　（ベトナム）　マレーシア）

+4百万円

営業利益　減少要因

1 （香港・米国）

価格改定後の既存店の回復に注力
（△17百万円）

（香港）　（米国）

2 （台湾の価格改定後の影響等）

価格改定による失客と台北の人員不足
（△15百万円）

（台湾）

3 （シンガポール）

前年並みの収益を確保
（△　1百万円）

（シンガポール）

▲33百万円

海外 :香港の状況

- 競合店の影響を大きく受けていた店舗への対策強化により、来店客数が前年同期比100.3%と前年同四半期を上回る
- QBPREMIUMを中心地の地下鉄駅立地に新たにオープンし多様化する需要を獲得し、サービス単価向上を図る

香港

	26/6期1Q	27/6期1Q	対前期
売上収益	622百万円	668百万円	107.3%
9月末 店舗数	62店舗	66店舗	4店舗増加

第1四半期の出店

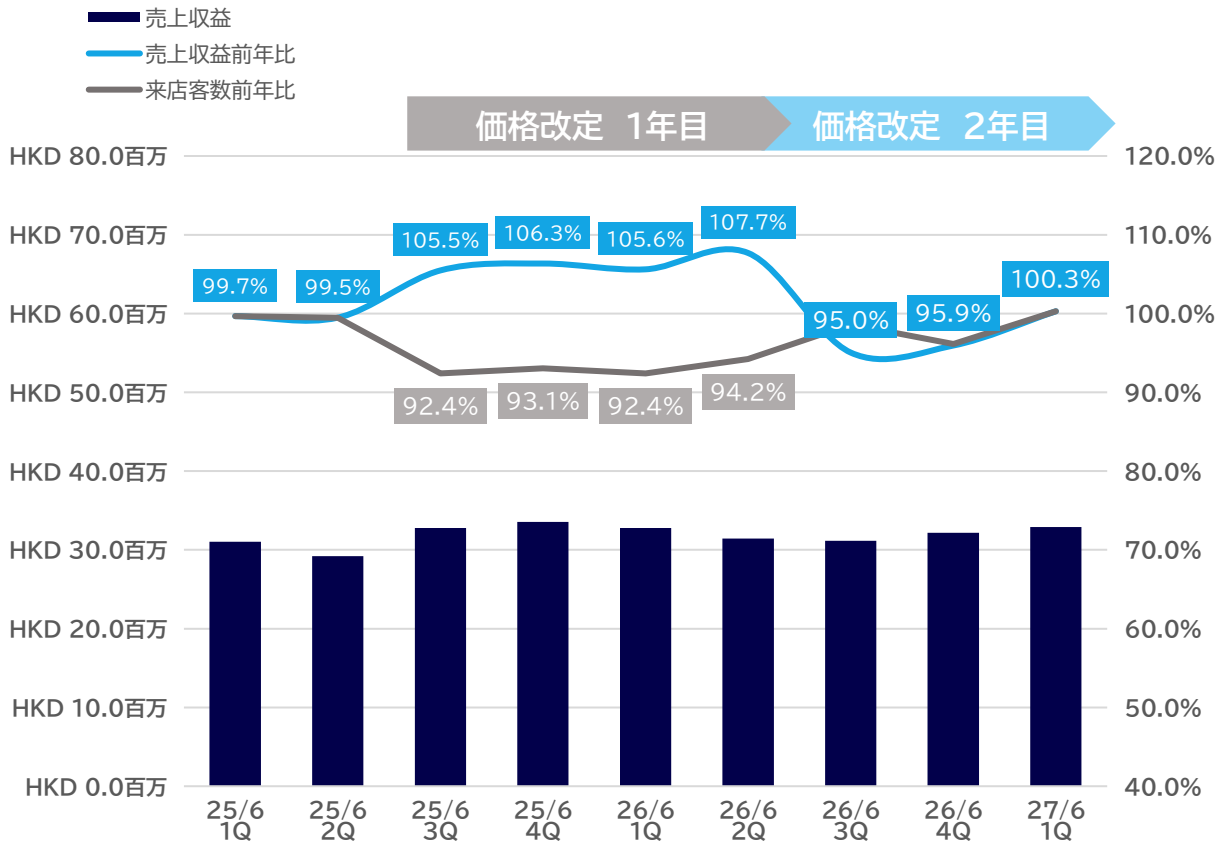
2026年8月オープン
MTR　ETS店



【サービス価格】
HK$120

※QB HOUSE:HK$80

売上収益(現地通貨建て)・来店客数の状況



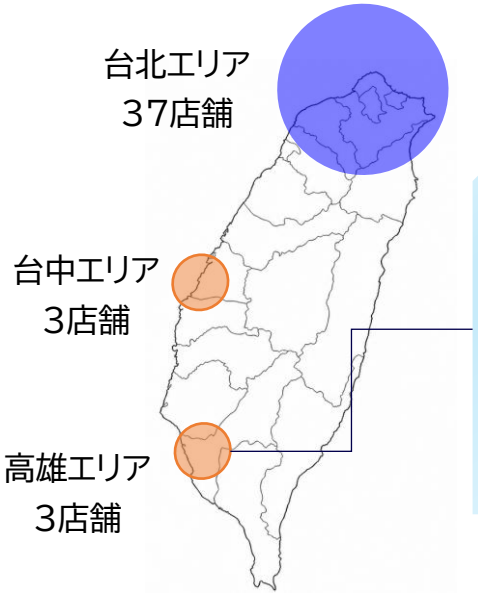
海外：台湾の状況

- 2026年1月の価格改定による来店客数の減少は想定の範囲内で推移
- 台北エリアは経験者採用の強化により土日・祝日の営業体制を整備、採用競争力の高い台中・高雄エリアは出店を強化

台湾

	26/6期1Q	27/6期1Q	対前期
売上収益	260百万円	269百万円	103.6%
9月末店舗数	38店舗	43店舗	5店舗増加

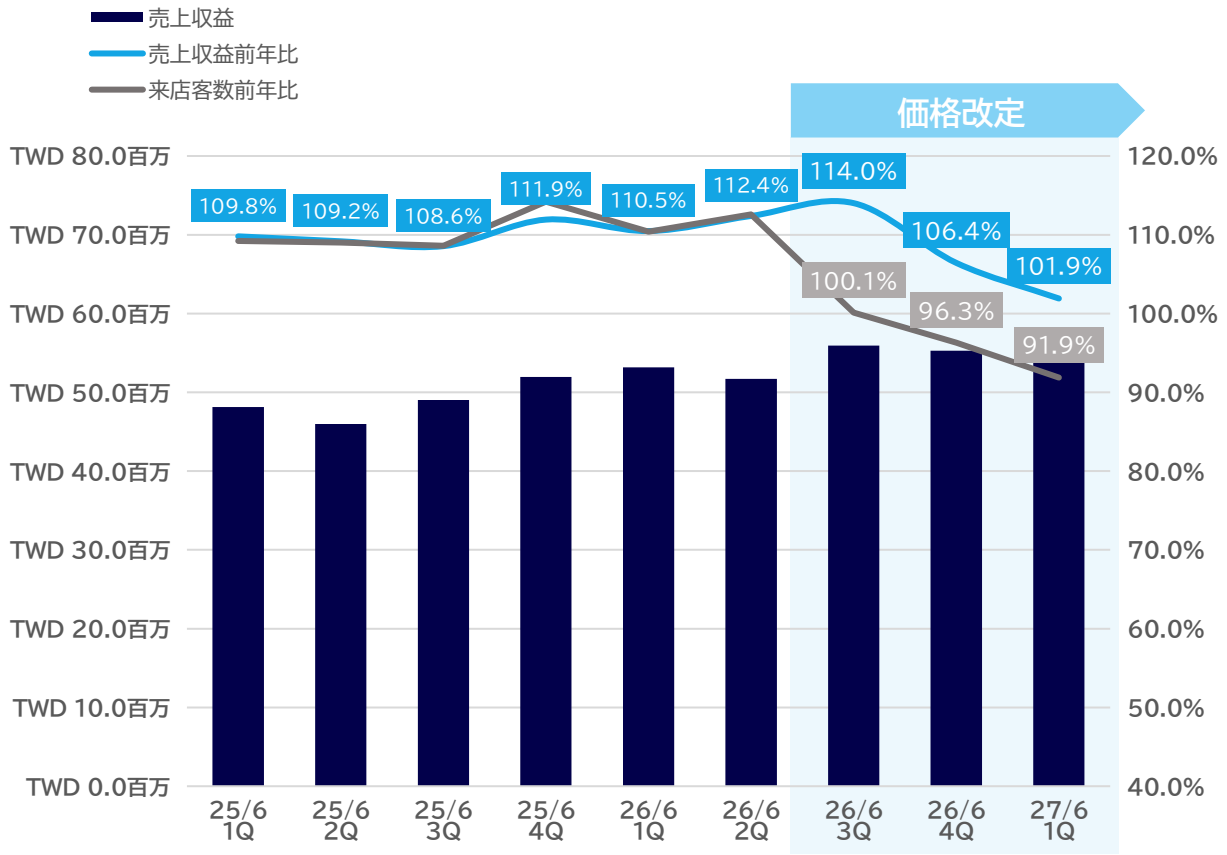
第1四半期の出店



2026年9月オープン
遠百高雄店



売上収益（現地通貨建て）・来店客数の状況



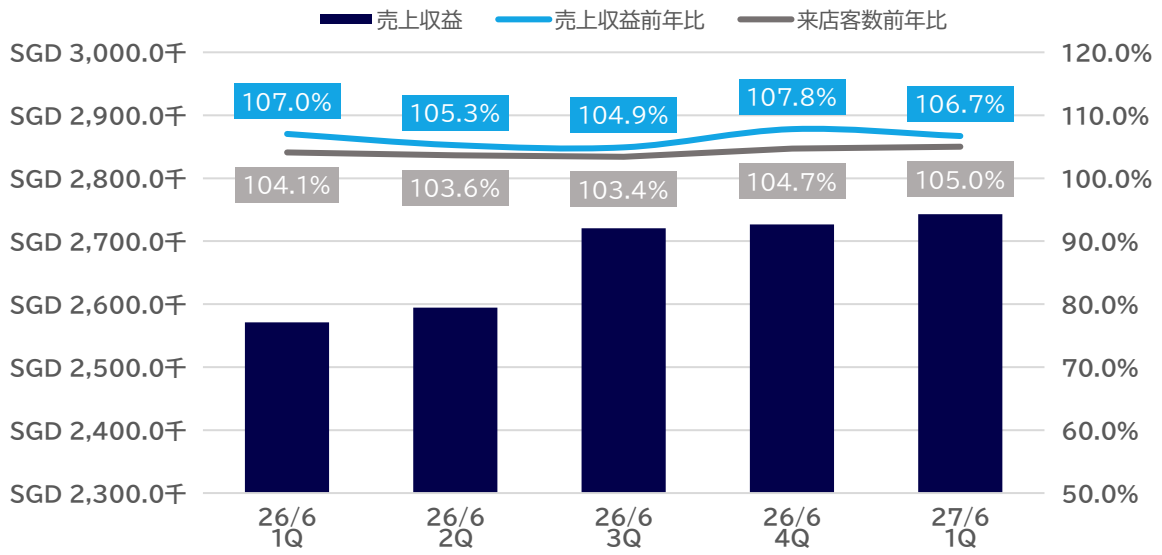
海外：シンガポールの状況

- 高付加価値メニューの拡充、既存店客数の回復により増収基調を継続
- 2026年12月にQB PREMIUMの価格改定を実施し、収益性のさらなる向上を図る

シンガポール

	26/6期1Q	27/6期1Q	対前期
売上収益	295百万円	341百万円	115.5%
9月末店舗数	30店舗	30店舗	-
うち、QB PREMIUM	10店舗	11店舗	1店舗増加

売上収益（現地通貨建て）・来店客数の状況



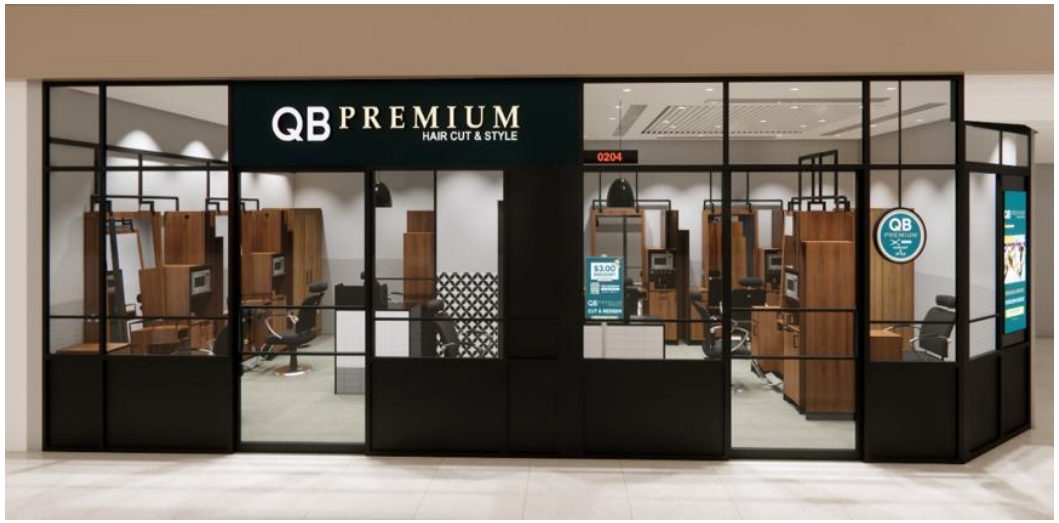
単価向上への取り組み

➢ QB PREMIUMの価格改定

男性　SG$18（約2,210円）⇒$20（約2,460円）
女性　SG$24（約2,950円）⇒$26（約3,200円）

➢ QB PREMIUM 313@somerset店の大幅増床

増床に伴いカット席を4席から8席に増やし更なる集客を見込む



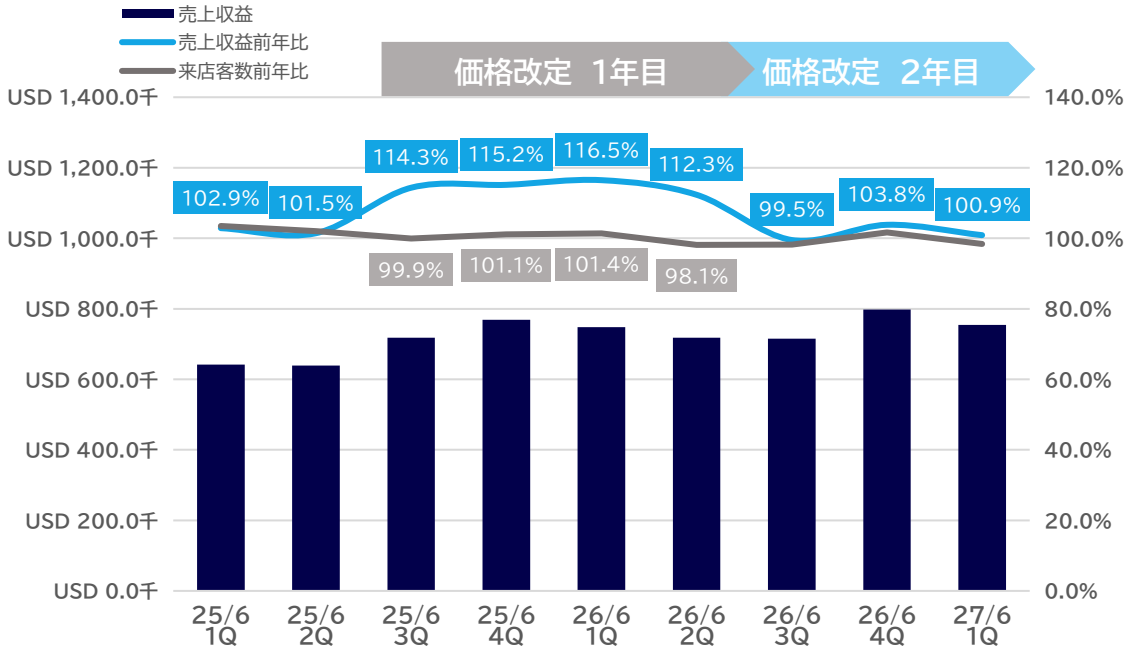
海外 :北米の状況

- 米国は今期の新規出店を抑制し、人財採用・育成強化により既存店の再成長を推進
- カナダは新店物件開発と既存3店舗の成長施策を推進し、市場浸透を加速。収益性は改善傾向

米国

	26/6期1Q	27/6期1Q	対前期
売上収益	111百万円	120百万円	108.3%
9月末店舗数	6店舗	7店舗	1店舗増加

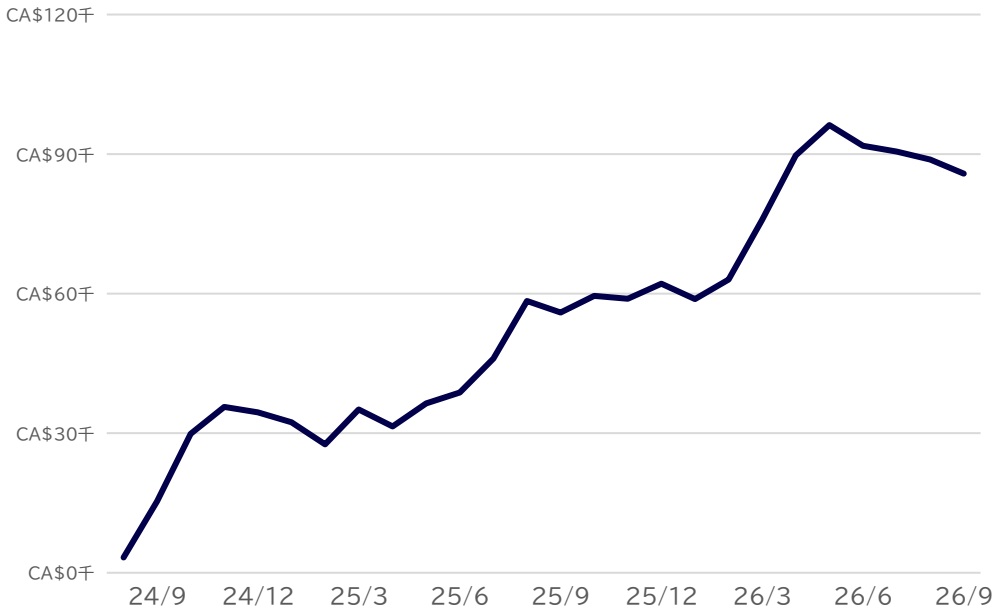
売上収益(現地通貨建て)・来店客数の状況



カナダ

	26/6期1Q	27/6期1Q	対前期
売上収益	17百万円	30百万円	175.0%
9月末店舗数	2店舗	3店舗	1店舗増加

進出後の売上収益(現地通貨建て)状況



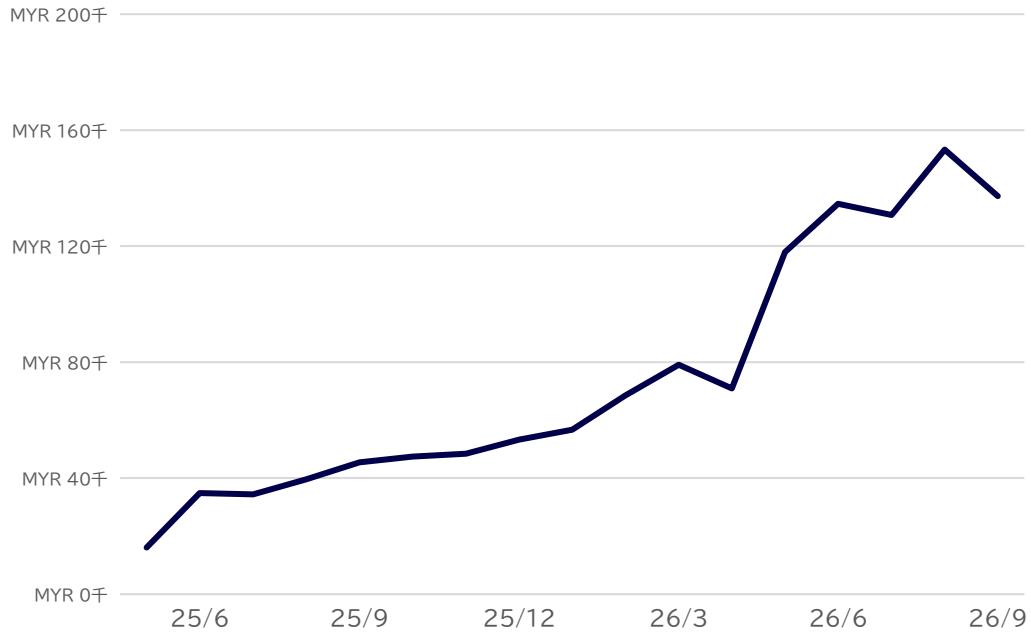
海外 :マレーシア、ベトナムの状況

- マレーシアは、シンガポールからのサポートによる低管理コスト運営効果もあり、年間営業利益の黒字化に向けて進捗
- ベトナムは、8月に現地の生活密着型ショッピングセンターに5号店をオープン

マレーシア

	26/6期1Q	27/6期1Q	対前期
売上収益	4百万円	16百万円	393.0%
9月末 店舗数	1店舗	4店舗	3店舗増加

進出後の売上収益(現地通貨建て)状況



ベトナム

	26/6期1Q	27/6期1Q	対前期
売上収益	2百万円	6百万円	259.0%
9月末 店舗数	1店舗	5店舗	4店舗増加

進出後の売上収益(現地通貨建て)状況



2026年8月オープン
LOTTE MART PHU THO店

Appendix

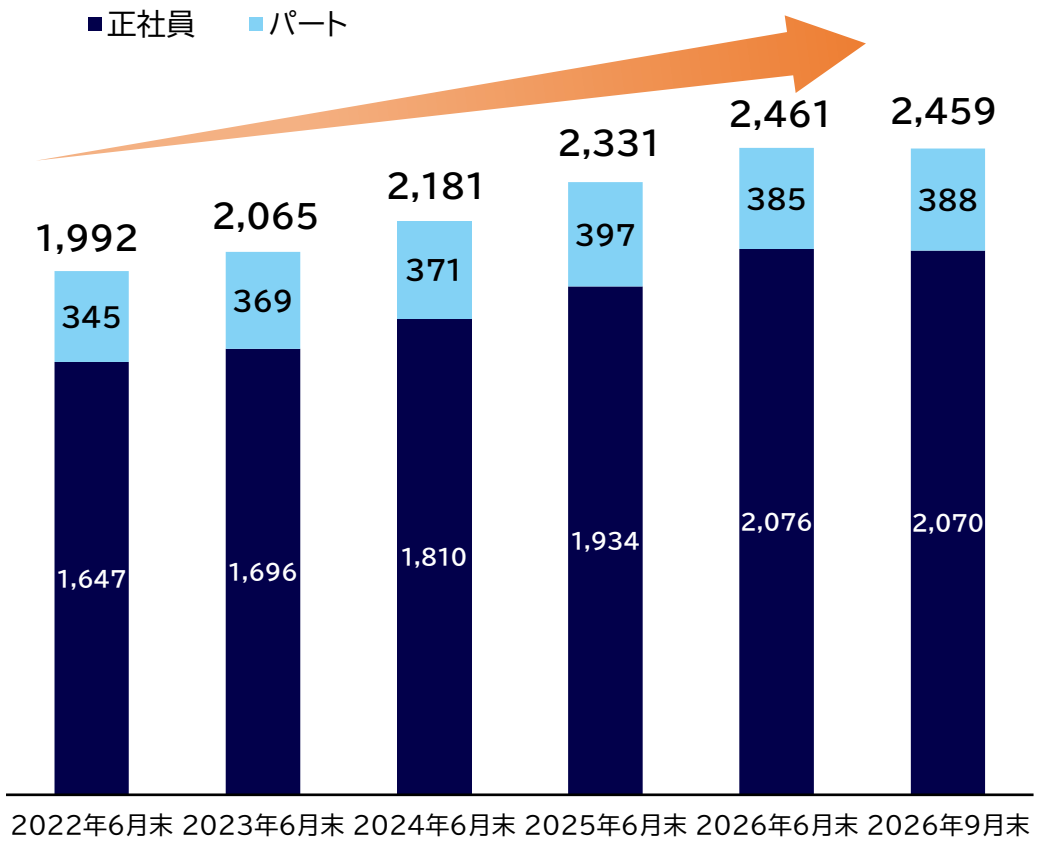


© QB Net Co., Ltd. All Rights Reserved.

国内：従業員数の推移と退職率

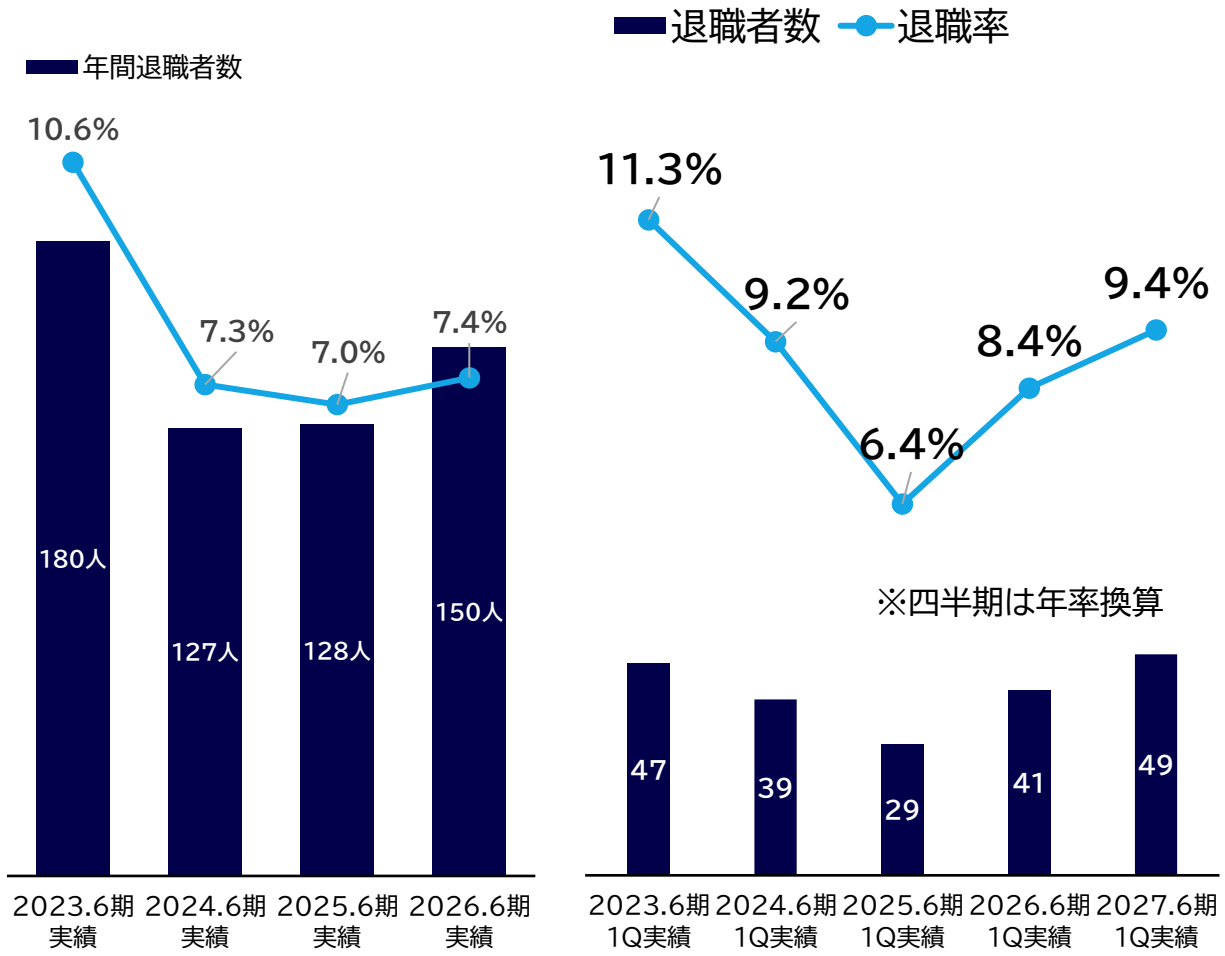
従業員数の推移

（単位：人）



※本社は除く、研修施設含む
※正社員→パート、パート→正社員への変更を含む
※業務委託先からの移籍に伴う入社を含む

退職率（正社員）



2027年6月期第1四半期　出店実績

（店舗）	業態	26/6期末	新店	閉店	増減	26/9月末
日本	QB HOUSE	587	5	△1	4	591
	QB PREMIUM	12			0	12
	FaSS	13			0	13
国内小計		**612**	**5**	**△1**	**4**	**616**
シンガポール	QB HOUSE	18			0	18
	QB PREMIUM	11			0	11
	QB HOUSE Kids	1			0	1
香港	QB HOUSE	65			0	65
	QB PREMIUM	–	1		1	1
台湾	QB HOUSE	42	1		1	43
アメリカ	QB HOUSE	7			0	7
カナダ	QB HOUSE	3			0	3
ベトナム	QB HOUSE	4	1		1	5
マレーシア	QB HOUSE	4			0	4
海外小計		**155**	**3**		**3**	**158**
連結グループ合計		**767**	**8**	**△1**	**7**	**774**

グループ連結業績概要

連結損益計算書

（百万円）	2026年6月期1Q		2027年6月期1Q			
	実績	売上比	実績	売上比	増減額	前期比
売上収益	6,809		7,186		377	105.5%
売上原価	△5,165		△5,556		△391	107.6%
売上総利益	1,644	24.1%	1,630	22.7%	△13	99.2%
その他の営業収益	1		13		11	
販売費及び一般管理費	△1,037		△1,103		△65	106.3%
その他の営業費用	△4		△2		2	
営業利益	603	8.9%	538	7.5%	△65	89.2%
金融収益	8		11		2	131.7%
金融費用	△62		△68		△5	109.5%
税引前利益	549	8.1%	480	6.7%	△68	87.5%
法人所得税費用	△169		△163		5	96.7%
当期利益	379	5.6%	316	4.4%	△62	83.4%

グループ連結業績概要

連結財政状態計算書

（百万円）	2026年6月末	2026年9月末	増減額
流動資産合計	6,276	5,716	△560
現金及び現金同等物	4,660	4,002	△658
営業債権及びその他の債権	1,252	1,222	△30
棚卸資産	102	193	90
その他	260	298	37
非流動資産合計	29,442	29,136	△306
有形固定資産	2,092	2,090	△2
使用権資産	8,288	7,947	△341
のれん	15,430	15,430	–
その他の金融資産	2,197	2,160	△37
繰延税金資産	837	836	△0
その他	595	672	76
資産合計	35,719	34,852	△866
負債合計	20,268	19,670	△598
営業債務及びその他の債務	344	485	141
有利子負債	8,129	7,956	△173
リース負債	8,073	7,749	△323
その他	3,721	3,479	△242
資本合計	15,450	15,182	△268
負債及び資本合計	35,719	34,852	△866

のれんはIFRS（国際会計基準）のため未償却
過去2回の株主変動に伴って生じたもの

借入金約定返済

（参考）2027年6月期　店舗計画

（店舗）

	業態	26/6期末	新店	移転	閉店	増減	27/6期末
日本	QB HOUSE QB PREMIUM	599	31	1	△5	27	626
	FaSS	13	2			2	15
国内小計		**612**	**33**	**1**	**△5**	**29**	**641**
シンガポール	QB HOUSE QB PREMIUM	30	1		△2	△1	29
香港	QB HOUSE QB PREMIUM	65	3		△1	2	67
台湾	QB HOUSE	42	4	1	△1	4	46
アメリカ	QB HOUSE	7	0			0	7
カナダ	QB HOUSE	3	1			1	4
ベトナム	QB HOUSE	4	4			4	8
マレーシア	QB HOUSE	4	4			4	8
海外小計		**155**	**17**	**1**	**△4**	**14**	**169**
連結グループ合計		**767**	**50**	**2**	**△9**	**43**	**810**

価格改定の過去実績

地域		価格改定（税込）の実績
国内		・2014年4月: QB HOUSE 1,000円 → 1,080円 ・2019年2月: QB HOUSE 1,200円、QB PREMIUM1,650円、FaSS2,200円 ・2023年4月: QB HOUSE 1,350円 QB PREMIUM 1,800円、FaSS 2,400円 ・2025年2月: QB HOUSE 1,400円 QB PREMIUM 2,000円、FaSS2,600円
海外	シンガポール	・2022年8月: QB PREMIUM SG$15（約1,840円） → SG$18（約2,210円） ・2022年10月: QB HOUSE SG$12（約1,470円） → SG$14（約1,720円） ・2023年9月: QB HOUSE 男性SG$14（約1,720円）、女性SG$18（約2,210円） QB PREMIUM 男性SG$18（約2,210円）、女性SG$24（約2,940円）
	香港	・2014年7月: HK$50（約1,000円） → HK$60（約1, 200円） ・2019年7月: HK$70（約1,400円） ・2025年1月: HK$80（約1,600円） ・2026年8月: QB PREMIUM HK$120（約2,410円）
	台湾	・2023年1月: 300元（約1,460円） → 350元（約1,700円） ・2026年1月: 400元（約1,940円）
	ニューヨーク	・2020年6月: $20（約3,150円） → $23（約3,630円） ・2020年11月: $25（約3,940円） ・2023年1月: $30（約4,730円） ・2025年1月: $35（約5,520円）
	カナダ	・C$39.55（約4,400円）
	ベトナム	・（10歳以上）男性100,000ドン（約610円）、女性140,000ドン（約850円） ・（10歳未満）男性 80,000ドン（約480円）、女性110,000ドン（約670円）
	マレーシア	・男性35MYR（約1,350円） 女性45MYR（約1,740円）

※為替レートは2026年10月16日時点

本プレゼンテーション資料は、当社及びその子会社の関連情報の開示のみを目的として作成したものであり、売買の勧誘を構成するものではありません。

本プレゼンテーション資料に記載されている将来予想に関する記述は、当社が現在入手可能な情報を勘案した上での、当社の現時点における仮定及び判断に基づくものであり、既知及び未知のリスク、不確実性その他の要因を含んでいます。当該リスク、不確実性その他の要因により、当社の実際の業績又は財務状態が、将来予想に関する記述により表示又は示唆されている将来の業績又は財務状態から大きく乖離する可能性があります。